

目 次

□巻頭言 建設機械雑感……………石 田 淳 三 / 1
 建設機械の生産・輸出入の動向……………栗 原 靖 一 / 3
 □昭和 52 年度官公庁・建設業界で採用した新機種 (1)

建設省……………	本 田 宜 史 / 9
	佐々木 輝 夫 / 9
運輸省……………	川 村 洋 一 / 14
	井 福 周 介 / 14
農 林 省……………	高 橋 勝 二 / 16
日本国有鉄道……………	五十嵐 伊三郎 / 18
日本鉄道建設公団 ……	松 尾 嘉 春 / 21
日本道路公団……………	服 部 一 藤 / 27

グラビヤ——芦屋浜高層住宅街建設工事の状況

水産土木の現況……………	中 村 充 / 29
神戸新交通ポートアイランド線事業の概要 ……	砂 田 隆 助 / 34
静清庵幹線水路における泥水加圧式推進工法の施工	
……………	八木橋 弘 / 40
負圧吸泥式ヘドロ浚渫船の開発……………	木 下 哲 夫 / 47
	笠 井 哲 夫 / 47
低騒音コンクリート破碎工法——DK コンクリートスブリック	
……………	安 延 信 一 / 52
	河 村 浩 二 / 52
□随 想 青函トンネル 14 年の想い……………	桂 木 定 夫 / 56
□部会研究報告	
新工法調査報告 (1)……………	調 査 部 会 / 60
工業用潤滑油の粘度グレード表示法の変更	
……………	機械技術部会潤滑油研究委員会 / 65
□新機種ニュース……………	調 査 部 会 / 68
□整備技術	
バックホウのディッパのメンテナンス (1)……………	整備技術部会 / 73
□ISO 規格紹介	
建設機械の安全性の必要条件	
および居住性に関する ISO 標準規格 (9) ……	I S O 部 会 / 76
□統 計	
建設工事受注額・建設機械受注額・建設機械卸売価格の推移	
……………	調 査 部 会 / 79
行事一 覧……………	/ 80
編集後 記……………	(西 出・堀 部) / 82

◀表紙写真説明▶

低振動低騒音破碎機
 “ユタニ・ニブラー”

発売元 油谷重工株式会社
 製造元 Hymac Limited England

近年土木建設工事における振動、騒音の公害問題が大きくクローズアップされている。本機は特に解体工事による振動、騒音の低減に取り組み、英国で開発された低振動、低騒音の破碎機である。用途も広く、道路改良工事、ビル解体工事、シートパイル破碎工事、橋梁破碎工事、その他都市土木に適したアタッチメントである。

全重量 (ニブラーユニット) ……1,180 kg
 使用圧力……………190 kg/cm²
 ニブラーシリンダ内径……………228.6 mm
 同 上 ストローク……………308.4 mm
 破碎能力……………最大 400 mm の厚さまで
 粉 碎 力……………45.7 t